

【12】 代表者による全体評価と見直しの結果

中遠広域事務組合は、磐田市、袋井市、森町によって構成されており、平成23年にエコアクション21の認証を取得しました。

組合として、粗大ごみ処理施設をはじめ、最終処分場を所有していますが、それらに搬入される家庭からの一般廃棄物は、その時の景気や災害などに左右されることがあり、搬入量に対し安定してごみ処理を行うことは難しい面があります。

そのような状況において、全員が省エネや環境保全の意識を持って取り組んだ結果、今年度は、二酸化炭素排出量について、令和2年度(2020年度)比6%減の期間目標に対して28.2%の削減となり、目標を達成できました。

しかし、一般廃棄物排出量については、リサイクル(古紙)が、令和2年度(2020年度)比6%減の期間目標に対して、29.3%の増加となり目標を達成できませんでした。要因は、書類整理等による一時的な処理の増加と考えられます。

ガソリンについては、令和2年度(2020年度)比6%減の期間目標に対して、4.8%の増加となり目標を達成できませんでした。要因は、埋立ごみ処理の民間施設調査のほか、台風15号対応による車両使用の増加と考えられます。

社会貢献活動としては、職員及び委託会社による周辺の草刈等を実施しました。また、施設見学について小中学生や地区の自治会の方々にも訪れていただき、住民の皆さんが集積所に出たごみの行方・処理の方法について学んでいただきました。

何れに致しましても、今後においても、効率的で適正な廃棄物の処理処分を心掛けるとともに、環境学習の機会を提供することにより、正しいごみの排出方法をご理解していただくと共に、エコアクション21への取り組みについて、組合の意義を再確認し、引き続き情報を発信しながら地域全体で二酸化炭素排出量の削減ができるように努めてまいります。

令和5年 5月31日

中遠広域事務組合管理者
磐田市長 草地 博昭